

佐倉市議会だより



2022年8月1日
(令和4年)

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508
佐倉市ホームページ <https://www.city.sakura.lg.jp/> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



目次 本会議の概要▷P1 一般質問▷P2～5 主な議案の概要▷P5 議案賛否一覧、8月定例会の予定▷P6
議案に対する会派等の意見▷P7 委員会報告、議会の構成▷P8

6月定例会

会期 6月6日～27日

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した 市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業の実施

事業費1億4,009万8千円 一議案第1号 一般会計補正予算一

この秋実施! キャンペーン期間中に、
市内の対象店舗で、指定のキャッ
シュレス決済サービス※で支払いをすると、
最大30%のポイントを付与します。

※PayPay、d払い、auPAY、楽天Pay
※期間中の付与上限あり

事業の詳細については、後日、こうほう
佐倉、市ホームページをご確認ください。



※イメージ写真

補正予算など8議案を可決

市長・副市長の給料を減額する条例の制定は
会期初日に 審議・議決
コロナ禍において原油価格・物価高騰等
に直面する生活者等への支援など

議案をPick up! 市独自施策

原油価格・物価高騰への対策

一議案第8号 一般会計補正予算一

1 学校給食 物価高騰対策支援事業

事業費 2,474万7千円

学校給食用の食材費について、コロナ禍に
おける物価高騰相当分5%を各学校へ支給



佐倉市 津田仙メニュー「カラフルペペロンチーノ」

2 住民税均等割のみ課税世帯 への応援金給付事業

事業費 3億8,465万4千円

国の「住民税非課税世帯等に対する臨時特
別給付金」の対象外で、令和4年度住民税
均等割のみ課税の世帯に、10万円を支給

3 子育て世帯生活支援 特別給付金支給事業

事業費 5,393万4千円

国の「低所得の子育て世帯に対する子育て
世帯生活支援特別給付金」の支給対象外で、
ひとり親世帯以外の令和4年度住民税均等
割のみ課税世帯などに、児童1人当たり
5万円を支給



佐倉市議会は、6月6日から6月27
日までの22日間にわたり、令和4年6
月定例会を開催しました。
今定例会では、「令和4年度佐倉市一
般会計補正予算」など議案8件が提出
され、審議の結果、可決しました。※議
案の詳細は、5ページ「主な議案の概要」に掲
載しています。
請願については、「国における202
3年度教育予算拡充に関する意見書」採
択に関する請願書」など3件、議員提出
議案については、「国における令和5年
度教育予算拡充に関する意見書」など
11件がそれぞれ提出され、審議しました。
また、一般質問には、各会派の代表
質問に6人、個人質問に7人が登壇し、
市政について広範囲の質問を行いました。

議長に 高木 大輔 議員 副議長に 敷根 文裕 議員 を選出



第64代 副議長
敷根 文裕 副議長
しきね ふみひろ
平成27年4月初当選以来、連続
2期目。この間、総務常任委員長、
経済環境常任委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕



第66代 議長
高木 大輔 議長
たかぎ だいすけ
平成23年4月初当選以来、連続
3期目。この間、文教福祉常任委員
長、建設常任委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕

副議長に敷根文裕議員を選出するとともに、各常任委員や議会運営委
員の選任を行いました。※議会の構成は、8ページに掲載しています。

5月臨時会

補正予算など3議案を可決・承認

ふるさと納税を主な財源とした
ウクライナ避難民への支援関連など

5月臨時会を5月19日に開催し、市長から「令和4年度佐
倉市一般会計補正予算」など議案3件が提出され、審議の結
果、いずれも可決・承認しました。※議案の詳細は、5ページ「主
な議案の概要」に掲載しています。

また、議長と副議長の選挙を行い、議長に高木大輔議員、

市政に関する

一般質問

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は質問時間を短縮し、6月13日から6月16日までの4日間行いました。市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(8月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(8月下旬配信予定)からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間40分、それ以外は20分。()内は会派名。

密本成章(さくら会) ※

- ①交付金事務に係る事務処理誤りについて
②新型コロナウイルス感染症関連
③安全・安心のまちづくり
④佐倉の教育について
⑤当面の課題

岡村芳樹(公明党) ※

- ①地方創生臨時交付金の活用について
②SDGsの実現に向けた取り組みについて
③自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進について
④新型コロナウイルス感染症対策について
⑤新生児の聴覚検査について
⑥ヤングケアラー・生理の貧困といった課題への対応について
⑦地域防災力の向上について

齋藤寛之(自由民主さくら) ※

- ①市長の政治姿勢
②第3次佐倉教育ビジョン
③安心して暮らせるまちづくり
④観光Wコア構想
⑤子育て支援

五十嵐智美(市民ネットワーク)

- ①新型コロナウイルス感染症対応交付金の返還問題について
②コロナ対策について
③孤立・孤独対策について

藤崎良次(ひまわり会と市民オンブズマン)

- ①交付金手続きミスについて
②新型コロナウイルスについて
③消防団について
④明神橋、明神台調整池について
⑤佐倉市のホームページについて

萩原陽子(日本共産党)

- ①子どもの成長・発達を守る施策について
②5億3千万円のコロナ交付金返還に関して

個人質問

玉城清剛

- ①まちづくりについて(環境編)
②まちづくりについて(ひとづくり編)

稲田敏昭

- ①臨時交付金の事務的な誤りについて
②緊急通報サービスについて

高橋とみお

- ①3年連続の「予算一括削減」と事業の優先順位
②指摘される「緩み」と市民サービス

宇田実生子(ひまわり会と市民オンブズマン)

- ①令和3年度新型コロナ対策費翌債・繰越手続きミスについて
②学校給食について

木崎俊行(日本共産党)

- ①消費税の5%減税を、物価高騰・生活苦について
②ロシアの侵略戦争をやめさせて市民の平穏を
③コロナ感染、自宅療養者への対応について

松島梢(市民ネットワーク)

- ①有機農業について
②学校教育について
③ペットボトルごみの回収について

川口絵未(市民ネットワーク)

- ①市民の安全な暮らしについて
②公園・観光施設について
③個人情報保護条例の改正について

※上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



さくら会 密本成章

交付金事務に係る事務処理誤りについて

発生要因及び再発防止策について伺う。

佐倉市適正な事務執行のための検討会を設置、5月25日に中間報告を公表。

7月末頃、より具体的かつ効果的な再発防止策を示し、実効性の高い対策を取りまとめた最終報告書を公表。

損害回復に向けた取組について伺う。

コロナ交付金については県に対し時間的配慮を要望。介護交付金の過少交付については厚労省に継続的に制度の見直しなどについて要望をしてきたが、追加

交付に係る交付基準を一部改正する通知書が発出され、10分の7が今年度中に追加交付されることとなった。新型コロナウイルス感染症関連

スポーツイベント再開と、ウイズコロナにおける開催について伺う。

感染症対策を行い実施していく予定。また大会規模の検討や運営方法の見直しなど万全な準備を進める。

安心・安全のまちづくり 大規模災害に対して常備消防だけでは限界。団員減少や高齢化などを踏まえ、今後の消防団の人員確保の方策と市の考えを伺う。

広報活動とともに活動環境の向上に取り組む。また出動報酬等を含めた処遇見直しを積極的に進める。再生資源物は有価物と

再生資源物は有価物として取引されているため規制する法律がない。再生資源物の屋外保管等に関する規制について考えを伺う。

他市の状況を把握するとともに、千葉県や県警、近隣自治体等と連携を図りながら検討を進めていく。

通学路の安全確保について、どのように保護者やPTAの声を反映しているか。また登校時の児童の安全確保の取組について伺う。

改善要望があった場合、教職員が現場確認し、教育委員会へ整備要望を提出する。通学路合同点検箇所

78か所中48か所が対策済み。引き続き計画的に改善する。当面の課題

地域気候変動適応計画策定と、地域気候変動適応センター確保について伺う。

国や県と連携しながら前向きに検討する。

安心・安全な食料を継続的、安定的に供給、確保することが重要であり、既存の取組のみならず、今後の時代に即した新たな取組も必要。今後の農業振興策について伺う。

既存の取組を引き続き行うとともに、新たな取組として環境保全型農業直接支払交付金やみどりの食料システム戦略推進交付金を活用した事業を進める。

佐倉ふるさと広場拡張整備基本計画と佐倉城址公園整備について、今後のスケジュールを伺う。

佐倉ふるさと広場は官民連携パークPFI制度を活用した公園整備を進める。佐倉城址公園については自由広場駐車場整備を令和5

年度に実施する。

地方創生臨時交付金の活用 令和4年4月28日閣議決定「コロナ禍における原油価格、物価高騰等総合緊急対策」において、公明党の強い要請で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が拡充された。

これにより、地方自治体

が実施する生活に困窮する

方々の生活支援や学校給食

費等の負担軽減など子育て

世帯の支援、農林水産業や

を検討するよう5月23日市長に緊急要望書を提出した。

燃料費や原材料費の高騰に伴い、学校給食費が値上げとならぬよう負担軽減策を図ることや、真に困窮している方への生活支援は重要である。どのような対策を講ずるか検討状況を伺う。

市の配分額は、コロナ

対応に幅広く活用できる通

常分1億1453万円と合わせ4億5812万円が示されている。昨今の原油高や物価高の影響が大きい分野をはじめ、市の魅力や特徴を維持できる観点から現在事業の選定を進めている。

具体的には、市議会公明党の緊急要望書等を踏まえ、給食費の負担軽減や生活困窮世帯の支援等を最優先で精査し、迅速に実施できるように計画を策定し、補正予

算を審議いただきたいと考
えている。

問 市長、急ぐべきものは、
案が固まり次第、早く議会
に提案し判断を仰ぐべき。

**SDGsを原動力とした地
方創生の推進について**

問 国は地方創生SDGs
を推進し、優れた取組の提
案都市を「SDGs未来都
市」と選定し、財政支援を
している。地方創生は人口
減少傾向の当市では、まさ
に最優先に取り組み有効な
手段と考えるが見解を伺う。

答 国や県・民間事業者と
の連携協力が不可欠。ご提
案の「SDGs未来都市」
は財政支援があり、まちづ
くりにとっても有効である。
認定された市原市や松戸市
を参考に活用を検討する。

**環境教育の推進と学校施設
のZEB化の推進について**

問 ゼロエネルギービルデ
ィングは、ゼロカーボンの
考え方で、学校施設でも環
境を考慮したエコスクール
事業が行われてきた。例え
ば、教室を二重サッシにし
ると、夏場38%、冬場27%
の電力削減。コストは13年
で回収、設置後20年で約8
00万円の導入効果。快適
な教育環境が整い、太陽光
発電や壁面緑化等は身近な
教材として環境対策も学べ
る。市も推進すべき。

答 国のカーボンニュート
ラルや市のゼロカーボンシ
ティ宣言に貢献できると認

識。太陽光発電やLED照
明を一部導入の学校もある。
今年度小・中18校の体育館
照明LED化事業を進めて
いる。市公共施設の省エネ
性能の向上について、でき
るところから取り組む。



自由民主さくら
齋藤寛之

SDGsについて

問 市が実施するSDGs
の取組を整理し、見える化
を図っていく必要があると
考えるが、見解を伺う。

答 職員研修や、担当する
計画事業とSDGsの目標
との関係を改めて確認させ
るなど、職員の理解度を深
めてきた。これら取組をさ
らに進め、中期基本計画に
おいて再整理していきたい。
**ゼロカーボンシティ宣言に
ついて**

問 宣言による第2次佐倉
市環境基本計画の変更点や、
具体的にどのような取組を
行っているのか、伺う。

答 佐倉市環境基本計画と
佐倉市地球温暖化対策実行
計画事務事業編の改定を図
るため佐倉市地球温暖化対
策推進本部の中に検討部会
を設置して各所属における
施策の見直しを進めている。
問 AIがシミュレーショ
ンした温室効果ガス等の数
値を瞬時に確認することが
できるEIEは、これまで
できなかったこと、新しい
発想を生む最適なツールで、

これを活用して今までと違
った取組を進め、ゼロカー
ボンシティの実現に向けて
加速していただきたい。

有機農業の推進について
問 みどりの食料システム
戦略推進交付金は、オーガ
ニックビレッジに向けた取
組を加速するいい機会だと
考えるが、市の見解を伺う。

答 有機農業産地づくり推
進事業の承認を得たことか
ら、検討部会を立ち上げ、
今後は、みどりの食料シス
テム戦略推進交付金を活用
し、有機農業の推進に向け
た取組を進めていく。

問 オーガニックビレッジ
宣言に向け、検討部会がと
ても重要な位置づけである
と捉えるが、具体的な検討
事項について伺う。

答 試行的取組として有機
農業セミナーや先進地の視
察、栽培技術の実証等を行
う予定。加えて、学校給食
での活用も検討しており、
今後の有機農産物の販路拡
大、生産拡大に向け様々な
課題について検討していく。

問 本市は自校式給食の強
みがあるので、みどりの食
料システム戦略を通じて、
地球温暖化及び定住人口の
維持・増加となるように施
策を進めていただきたい。

公園整備について
問 スポーツができる特徴
のある公園整備が、にぎわ
いと活性力を生むものだと
考えるが、市の見解を伺う。

答 スポーツに特化した特
徴ある公園づくりは、今後
の公園整備を検討する上で
必要な要素であると認識し
ている。緑の基本計画を策
定する中で利用者のニーズ
等を的確に把握し、今後の
公園整備に生かしていく。
子育て相談について

問 地域子育て支援拠点事
業や利用者支援事業につい
てもデジタル化にすべきと
考えるが、見解を伺う。

答 事業のデジタル化につ
いては、事務負担の軽減や
効率化が期待されることか
ら、市のDX推進方針の進
捗状況を踏まえ、運用コス
トなど総合的に勘案する中、
検討していく。



市民ネットワーク
五十嵐智美

**新型コロナウイルス感染症対応交付
金の返還問題について**

問 交付金の事務手続きミ
スで5億3千万円を国に返
還。3月発覚直後に市長自
ら直接市民に謝罪と説明を
すべき事態だが3か月間一
切なし。市長としてなぜ説
明責任を果たさなかったか。

答 広報の7月1日号に処
分と中間報告等を掲載する。
問 事務執行ミス検証の検
討会の報告で職員一人での
担当を改めるとあり、増員
必至と考える。行革での職
員削減の弊害では。対応は。

答 近年職員数は横ばいの
ため行革の弊害が表れた結

果ではないと認識している。

問 検討会は庁内の職員の
みで構成。他自治体では弁
護士や市民など第三者を入
れた委員会でも対策を提言。
多額の交付金の返還は非常
に大きな事案であり、検討
会には公正・公開が必要。
最終報告に向け第三者を入
れた委員構成にすべき。

答 非違行為による事案の
対策ではなく、事務処理誤
りの再発防止策を早急に実
施するため効果的と判断。

問 市民の信頼回復のため
外部視点を取り入れるべき。
コロナ対策について

問 交付金事業で経済的に
困難な市民への直接的な支
援策は検討したか。

答 社協の善意銀行に支援。
問 国の今年度の緊急対策
の交付金で、経済的に厳し
い生活者への支援を盛り込
むと聞いた。どのような枠
組みを想定しているか伺う。

答 生活困窮世帯の支援、
給食費の負担軽減等を予定。
**ひまわり会と市民
オンブズマン
藤崎良次**
**交付金手続きミスにより
佐倉市は計6億円の損失**
問 国からの交付金に対し、
佐倉市の手続きミスにより、
多額の金額を失う事態が発
生した。これらの概要は。

答 コロナ交付金は、誤っ
た数値の資料を提出し、繰
り越せなかった。介護の交
付金は、誤って高齢者人口

等の前年度数値を報告し、
交付額が過少となった。

問 コロナ交付金において
は、規則に反して財政部に
合議を一部取らなかったか。

答 そのとおりである。
問 介護交付金の係数報告
においては、財政部長等に
合議を取ったか。

答 合議はしていない。
問 この係数は交付金に直
接関係している。財政部長
等に合議を取るよう決め
るべきだ。

答 事務の効率性から適当
でないと考えている。
問 ミス防止のために、工
夫して、合議を取るべきだ。
介護交付金の再発防止は各
所属にて行うとの議会答弁
だったが適切か。

答 適切である。
問 財政部などとの合議が
重要なので、各組織が連携
をして仕事をすべきだ。

電子メールの送信内容が
実質的に正しくなかったた
め、合計6億円もの損失が
発生している。その点を肝
に銘じて反省してほしい。
**消防団の出動手当、来年度
より月額8000円に**
問 出動手当の取り組みは。
答 災害に関する出動報酬
は、一日8千円として検討。
年額7百万円の増額見込み。





日本共産党 萩原陽子

子どもの成長発達を守る施策

子どもの生活状況調査によると1割の家庭が貧困状況。就学援助が必要な児童等に制度が行き届いていない。全児童、生徒に申請書を配り、全員から回収する方法を実施できないか。

ご意見として承る。高等学校等奨学金制度は通信制の高校も対象に加えるべきではないか。

社会情勢の変化を踏まえ、研究を進めている。給食費の負担軽減のため、市が独自に無償化を決めることは有効ではないか。

県が今後検討する無償化事業の動向を注視する。5億3千万円の交付金返還

この10年間に何件の事務処理誤りがあったか。

H28以降、報告は13件。今回の事務処理誤りを起こした職員は兼務により相当負担だったと分析。兼務職員は191名だが、兼務は致し方ないとの判断か。

市政執行のために兼務職員を適宜配置していく。職員の処分で再発防止はできない。正規職員の人員不足ではないか。

一概に人員不足が原因とは言えないが、職員配置について一層精査していく。

1年で異動した部長はこの5年間で何人いるか。

8人の異動があった。市長は給与94万円の減額で市民の納得を得られると判断したのか。事務処理誤りを正す組織体制を構築できなかった事に対する管理監督責任として提案したもの。

個人質問



玉城清剛

まちづくりについて

まちづくりは住みよい環境づくりと人づくりからと言われている。住みよい佐倉市を築くには、公共施設の適切な維持管理が必要。今後の施策について伺う。

現状の施設規模を維持していくためには年平均94億円必要。適切な維持管理、施設の規模・配置の最適化を進めるとともに、国・県と連携して財源の確保も推進する。

上下水道の耐震、老朽化対策と作業の進捗状況、埋設管耐用年数及び総工事費用を伺う。

市内の水道管の耐用年数は40年で約820kmの内約370kmが耐震管に。病院や避難所などの重要施設までを優先に更新。下水道管の耐用年数は50年で約820kmの内約78kmの調査完了。事業費は水道約270億円、下水道約130億円。

清掃組合の焼却設備老朽化による交換時期が来た場合の計画について伺う。

焼却施設は令和15年まで稼働で地元と合意。以降は組合と構成市町で協議。

西志津では、高齢者の健康維持と親睦を目的に佐倉市わくわく体操会を実施。支援と拡充を願う。

自治会・公民館事業と連携し体操会周知に努める。

自治会が近隣の環境整備で人づくりの輪を広げている。本活動に市の支援は。

自治会には自治振興交付金、複数の自治会等による連合協議会には連合協議会交付金の支援がある。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事務的ミスについて

3月28日の臨時会から3か月になるが、トップである市長が市民に謝罪と説明がないのはなぜか。

3月臨時会及びHP等で謝罪、説明を行った。処分等の情報と合わせ、7月1日号広報に掲載する。

業務量の増大と人員削減は相反する。人員を増やす考えはあるか。

限られた人員で質の高い行政運営を維持していく。効率化だけを求めず働く人の立場に立ち市民に信頼される体制を築かれない。

緊急通報サービス事業について

緊急通報サービス事業は、生活する上で不安解消につながるよい施策だ。内容について伺う。

不安のある高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置。緊急時にボタンを押すと24時間365日体制で受信センターを通し、救急車の要請や緊急連絡先への連絡等を行い、月に1度電話にて安否確認も行っている。

昨年度まで無料だったが、今年度から有料になった理由と変更内容を伺う。

原則一人暮らしを要件とし、要介護状態や疾病等により、不安のある65歳以上の方を対象としていたが、今年度から75歳以上は身体の状態に関係なく対象。費用負担は制度拡充と安定的なサービス提供のため、市民税所得割課税世帯には月500円をお願いした。

児童福祉費と人口の増減

佐倉市は直近の過去2年、千葉県54市町村中、人口減少数が多い上位5団体として記録されている。また、佐倉市と人口や予算規模が近い類似団体6市の中で、児童福祉費にかけた予算は最低であり、その差は大きい。明石市は児童福祉予算を倍増させた結果、定住人口も、特殊出生率もV

字回復した。断言できないが佐倉市の人口減少の多さと児童福祉費の少なさは、明石市とは逆の意味でその相関関係を示していないか。

若い世代に選ばれる市になるため若年層に多くの予算をかけるべき。

児童福祉費には、民間保育園等施設整備助成など、数億円規模の大型の建設事業を計上することもあるため、年度により予算上大きな変動が生じる。また、自治体ごとに計上の仕方に差異があり、それをそろえる、類似団体と比較しても佐倉市の児童福祉費が低すぎるとは考えていない。

費目をそろえた順位のことではなく、予算の組み方の思想の話をしている。スクールソーシャルワーカーの充実

子供たちが抱える課題に的確に対応するために、市内の全中学校にスクールソーシャルワーカーを1名ずつ配置していただきたい。

今年度は、新たに2名のスクールソーシャルワーカーが増員され、合計4名の体制となった。

コロナ交付金事務処理誤り軽すぎる市長管理監督責任

①多古町長1700万円損害 給料50%減3か月

②我孫子市長1089万円損害 給料30%減1か月

③阿武町長4300万円誤入金 給料50%減3か月

④佐倉市長介護保険7千万円損害 給料10%減1か月

コロナ交付金5億3千万円損害 給料10%減10か月 (94万円)。市長の見解は。

任期終了まで職員と一丸となり信頼回復に努め、御理解いただこう努める。

参考にした他市事例の明示もなく、その減額が妥当であるかさえ判断不可能。

今回の措置は故意の有无、処理経過等を踏まえ判断。他団体事例の詳細な事情、決定の経緯は承知していない。特別職給料減額の程度を交付金返還額に同じ一概に比較し、軽重を論ずることはあまりなじまない。

市民の皆様がどうお感じになるかという点を考慮した上で検討いただきたい。

複数箇所での市民への謝罪、説明会開催を問う。

説明会等の開催は、予定していない。

市民は、市長と会って話をし、納得されることもある。市民と直接触れ合う機会を持つていただきたい。

学校給食費 物価高騰分コロナ交付金を直ちに活用

給食費の値上げの可能性とコロナ交付金の活用は。

給食費の値上げについては、検討中の報告はない。給食費への補助については、

宇田実生子 市民オンブスマン

コロナ交付金事務処理誤り軽すぎる市長管理監督責任

①多古町長1700万円損害 給料50%減3か月

②我孫子市長1089万円損害 給料30%減1か月

③阿武町長4300万円誤入金 給料50%減3か月

④佐倉市長介護保険7千万円損害 給料10%減1か月

コロナ交付金5億3千万円損害 給料10%減10か月 (94万円)。市長の見解は。

任期終了まで職員と一丸となり信頼回復に努め、御理解いただこう努める。

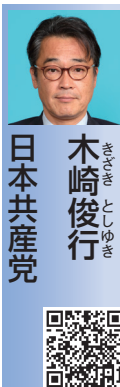
参考にした他市事例の明示もなく、その減額が妥当であるかさえ判断不可能。

今回の措置は故意の有无、処理経過等を踏まえ判断。他団体事例の詳細な事情、決定の経緯は承知していない。特別職給料減額の程度を交付金返還額に同じ一概に比較し、軽重を論ずることはあまりなじまない。

市民の皆様がどうお感じになるかという点を考慮した上で検討いただきたい。



現在検討している。



木崎俊行
日本共産党

**滞納者につめたい市政
裁判による威圧はやめよ**

問 市は利用料等の滞納を議会に諮らず裁判にかけることを市長の専決処分とする申し入れをした。目的は、

答 法令等で定められた手続きを適時適切に行う意図。

問 市営住宅の入居者は申し込みの入居資格で生活に

困窮する世帯や、家庭内暴力の被害者であったりする滞納があれば、裁判でなく、生活困窮者支援事業等の対象であり、公的な生活相談で乗り切る、市長が徴収猶予の対象とする覚悟が求められる。司法に投げることは温かい血の通った行政を投げ捨て、市長の限界を宣言することにならないか。

答 訴えの提起は、債権の保全のために行うもの。実施に当たっては、滞納者の生活状況等を慎重に見極めながら、適切に対処する。やさしく強い経済へ消費税5%へ緊急減税インボイスは中止へ

問 生活が苦しい中、来年10月からインボイス制度が始まる。年間売り上げが一千万円以下で免税事業者を選択した場合、取引から排除されてしまうことが必至。インボイス発行事業者となれば、課税売上550万円

(所得200万円位で、平均15万4千円の消費税を納める。市内の小規模事業者にも多くいるのではないかと、地域経済への打撃になると考えないか。

答 国の制度であり、事業者が適切に対応すると捉えている。



松島梢
市民ネットワーク

有機農業の推進について

問 オーガニックビレッジ宣言は、市が有機農業に取り組むことを対外的に宣言するもので、市も宣言を視野に入れた検討部会を設置した。有機農業推進を広く市民に知ってもらうために、傍聴できるように求める。

答 忌憚のない意見をもらいたいので、非公開で行う。

問 有機農産物の学校給食への導入の予定はどうか。

答 試行的に学校給食での活用も検討しており、教育委員会とも連携していく。

問 木更津市やいすみ市等、先進自治体に学ぶことや他自治体との情報共有も重要と考えるが、市の見解は。

答 先進地視察を予定している。4月に、有機農業と地域振興を考える自治体ネットワークの会員となった。

ペットボトルごみについて

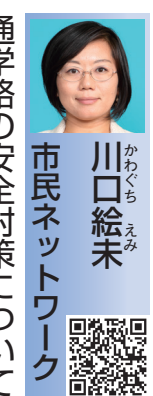
問 今年度よりペットボトルをその他プラの黄色いごみ袋に入れて、ごみ集積所に出せることになった。市

はキャップラベルを外して軽く水洗いしてから出すこととしているが、そのまま出されているものがある。

答 市民に適切な排出について周知を徹底していく。

問 ペットボトルの原料は石油であり、流通に大量の石油が使用される。リサイクルをしてもCO₂が排出され、環境に負荷がかかる。市民ネットワークは、以前から給水機の設置等要望してきた。マイボトルを持ち歩き、買わない使わない選択を増やす施策が必要。

啓発等推進に努める。



川口絵未
市民ネットワーク

通学路の安全対策について

問 八街の児童死傷事故を受け、通学路において市が力を入れる道路整備とは。

答 昨年実施した通学路の緊急一斉点検で対策が必要な78か所のうち、市が道路整備を行う51か所を、今年度中に全て完了する予定。

問 新しいハザードマップで浸水の想定区域と土砂災害警戒区域にかかる通学路の見直しをどうするか。

答 マップを改めて確認し、必要に応じて検討するよう各学校に指導していく。

公園整備計画について

問 佐倉市緑の基本計画策定支援業務委託を公募型プロポーザル中だが、市としてのビジョンはあるか。

答 収益性が見込める佐倉ふるさと広場や城址公園、七井戸公園等のパークPI I (民間活用) を想定。

問 ふるさと広場拡張整備基本計画で、施設建築約5億円、通年型の庭約5億円、駐車場約1.5億円。土地購入費は別。今後の予定は。

答 今年度中に土地の不動産鑑定、来年度以降購入後、パークPI I導入予定。

問 市のメリットは。

答 財政負担の軽減や交流人口の増加等。

問 財政負担12.6%削減の試算だが11.5億円。土地購入費別でものすごい額。

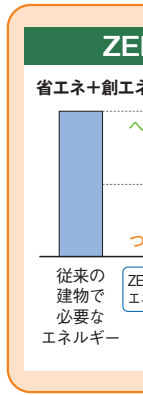
問 (仮)西部自然公園も話がついた所から土地購入予定だが時期や利用方法は。

答 今年度中に基本計画の改定、来年度以降に計画的な用地取得を予定。民間活用を含めた利用方法を検討。

用語解説

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギービル)の略称。

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。



主な議案の概要

5月臨時会

市長から提出された議案のうち、議案第1号は令和4年度佐倉市一般会計補正予算、議案第2号、第3号は、専決処分の承認を求める議案です。

議案第1号 令和4年度佐倉市一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ2億565万2千円の増額。補正後の予算総額は、511億2465万2千円。

「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に位置付けられた住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金に係る令和4年度課税情報を活用した運用改善及び低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の支給並びにロシアによるウクライナ侵略によりウクライナから来日する避難民の受入体制の整備について、早急に事業着手するため。

6月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号・第8号は令和4年度佐倉市一般会計補正予算、議案第2号、第7号は条例の制定に関する議案です。

議案第1号 令和4年度佐倉市一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ15億1557万6千円を増額。補正後の予算総額は、526億4022万8千円。

歳入は、国庫支出金、県支出金、繰入金、諸収入及び市債の増額。歳出の主なものは、市議会ICT化推進事業、個人番号カード等交付事業、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業、市内消費喚起事業等に係る事業費の増額。

債務負担行為の補正は、志津南部地区学童保育所指定管理者施設管理業務(令和4年度増額分)の追加。

地方債の補正は、公園整備事業債の限度額の変更。

議案第2号 令和4年6月から令和5年3月までの間における市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について

令和2年度に交付決定を受けた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る「翌償」及び繰越しの手続において生じた事務処理の誤りに対する市長及び副市長の責任の重大性に鑑み、令和4年6月から令和5年3月までに支給する市長等の給料を、市長にあっては10%、副市長にあっては5%減額するもの。※公布の日から施行

議案第8号 令和4年度佐倉市一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ4億7872万5千円の増額。補正後の予算総額は、531億1895万3千円。

「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に基づき創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)を活用した生活困窮世帯への支援及び給食用食料費の高騰分支援等について、早急に事業着手する必要があるため。

歳入は、国庫支出金及び繰入金の増額。

歳出は、住民税均等割のみ課税世帯への応援金給付事業、マイクログリーンズ推進事業、学校給食物価高騰対策支援事業などに係る事業費の増額。

繰越明許費の補正は、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業(市独自給付分)の設定。

令和4年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 可決 承認
 賛成 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会												公明党				自由民主 さくら				市民ネット ワーク		ひまわり会 と市民オン ブスマン		日本 共産党		会派に 属さない議員		
			No.	9	10	16	17	18	22	23	24	27	28	7	8	25	26	5	6	14	15	1	2	19	4	21	13	20	3	11	12
			議員	密本 成章	岡野 敦	斎藤 明美	敷根 文裕	高木 大輔	平野 裕子	爲田 浩	石渡 康郎	櫻井 道明	中村 孝治	押木 孝和	鍋田 達子	久野 妙子	岡村 芳樹	齋藤 寛之	石井 秀明	徳永 由美子	山本 英司	松島 梢	川口 絵未	五十嵐 智美	宇田 実生子	藤崎 良次	木崎 俊行	萩原 陽子	高橋 とみお	稲田 敏昭	玉城 清剛
市長提出議案																															
1	令和4年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	専決処分の承認を求めることについて (佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	専決処分の承認を求めることについて (佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和4年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可決 否決 採択 採択 不採択
 賛成 反対 除斥 棄権 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会												公明党				自由民主 さくら				市民ネット ワーク		ひまわり会 と市民オン ブスマン		日本 共産党		会派に 属さない議員		
			No.	9	10	16	17	18	22	23	24	27	28	7	8	25	26	5	6	14	15	1	2	19	4	21	13	20	3	11	12
			議員	密本 成章	岡野 敦	斎藤 明美	敷根 文裕	高木 大輔	平野 裕子	爲田 浩	石渡 康郎	櫻井 道明	中村 孝治	押木 孝和	鍋田 達子	久野 妙子	岡村 芳樹	齋藤 寛之	石井 秀明	徳永 由美子	山本 英司	松島 梢	川口 絵未	五十嵐 智美	宇田 実生子	藤崎 良次	木崎 俊行	萩原 陽子	高橋 とみお	稲田 敏昭	玉城 清剛
市長提出議案																															
1	令和4年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	令和4年6月から令和5年3月までの間における市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について (令和4年6月6日議決)	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	佐倉市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	佐倉市印鑑条例及び佐倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	佐倉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	令和4年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願																															
21	「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	「日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願書	不	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○		
議員提出議案 ※数字は発議案番号																															
1	高橋とみお議員の一般質問の際の櫻井道明議員による不規則発言に関する問責決議 (令和4年6月16日議決)	否	×	×	×	×	議	×	×	×	除	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	○	○		
2	高橋とみお議員及び稲田敏昭議員に対する問責決議 (令和4年6月16日議決)	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	国における令和5年度教育予算拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	物価高騰から暮らしを守る消費税率5%への緊急引き下げを求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○		
8	消費税のインボイス制度導入中止を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○		
9	軍事力強化路線を撤回し、日本国憲法の理念に基づいた安全保障政策の遂行を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○		
10	理解と合意なき汚染水海洋放出設備工事の中止を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○		
11	安易な「マイナ保険証」導入の義務づけの中止を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○		

ホームページをぜひご覧ください

会議録検索
検索できる会議録はこちら！
・平成元年以降の本会議
・平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等

インターネット中継
本会議の様様を、開催時間中にライブ中継、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信

政務活動費
政務活動費の支出の根拠、取扱基準や経費の範囲の説明、平成29年分からは収支報告書とあわせて領収書を公開中

佐倉市議会 検索

8月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 8月23日(火)
- ◆招集日 8月29日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 9月5日(月)～8日(木)
- ◆常任委員会 9月12日(月)～15日(木)
- ◆決算審査特別委員会 9月20日(火)～22日(木)、26日(月)
- ◆最終日 9月28日(水) 午後1時から

日程は変更になることもありますので、詳細は議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL043-484-6254

—本会議(招集日・一般質問・最終日)の映像—
□インターネット中継：左記参照
□CATV放映：開催日翌日午後5時30分～放送
【地上デジタル10ch、デジタルCATV301ch】

用語解説 ～ 除斥(じよせき)とは ～ 『除斥』とは、議会における審議の公正を期するため、議案と一定の利害関係を有する議員が当該議案の審議に加わることができないという制度です。今定例会においては、特定の議員の政治的責任を問うことを内容として行われた決議案(6月定例会 議員提出議案第1号及び第2号)について、該当する議員は議場から退場し、採決に不参加となりました。

議案に対する会派等の意見

ついで

議案第1号、第8号 令和4年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

これらの予算案には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した多くの事業が計上されている。

議案第1号には、市内小売店舗の売り上げ増を目的とした「市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業」や「市内消費喚起事業」、公共交通を堅持するための「公共交通継続支援事業」、高齢者の外出機会を創出し健康を維持するための「高齢者いきいき応援事業」のほか、保育園や高齢者施設において集団感染を発生させないための「抗原検査キット等配布事業」など、コロナ禍にあっても様々な活動を継続させ、活力維持につながる多様な事業が提案されたものと評価している。

議案第8号は、現在の原油高、物価高騰を踏まえ、本年4月末に閣議で創設された臨時交付金に対応するため、これまで支援が届かなかった所得層、具体的には住民税均等割のみ課税世帯を対象に、1世帯あたり10万円の応援金を給付するほか、子育て世帯には児童1人当たり5万円を支給しようとする事業が計上された。

また、物価高騰が直撃している給食について、その質と量を確保するため、市内の小中学校や幼稚園、官民保育園や認可外保育施設における各種給食事業に対し、その食材費の5%を支援する事業も提案された。

これらは、今まさに物価高騰の影響に直面している生活困窮世帯や子育て世帯に対して支援を直接届ける取組であると評価するとともに、議会最終日に追加提案されたことについても、緊急かつ機動的な対応が求められる本交付金の趣旨に整合した、時宜を得た提案と判断した。

加えて、議案審議の過程において、交付金申請や実施計画の提出など今後の事務手続き、さらには、事業の進捗管理や計画の見直しによる交付金の有効な活用に関する説明も納得できるものであり、賛成する。

本市議会では、コロナ禍にあっても、重要な社会機能である「議決機関としての機能」を堅持するため、感染防止対策を徹底した上、必要な会議を開催してきた。本決議は、感染防止の一方策として、議場における三密状態を回避するため、一般質問時に限り、議員の半数を会派室での視聴した取り決めに一度も応じなかった議員に対し、猛省を促したものである。

この取り決めは、会派代表者会議及び議会運営委員会において協議、決定されたもので、本市議会の規範

であり、議員として尊重しなければならないことは言うまでもない。また、感染防止の観点からも、議会機能の堅持が、議員の一番の責務であることに鑑みれば、そのルールに従うのが賢明な判断だと考える。

会派代表者会議及び議会運営委員会での協議、決定が軽んじられる危機的状況を憂慮し、その是正を願い、決議を提出したものである。

議案第8号令和4年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

市議会公明党は、物価高騰から市民生活と地域産業を守る緊急対策の確実な実現に向け、5月23日市長に「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の積極的活用について緊急要望書を提出しました。

最終日に提案された一般会計補正予算では、私たち公明党の要望を数多く取り入れて頂き、学校給食などの負担軽減策、住民税均等割のみ課税世帯への応援金給付事業、子育て世帯生活応援給付金の対象者拡大などは、感謝申し上げます。

物価高騰にあえぐ市民の皆様、真に困窮している方々へ、いち早く支援の手が差し伸べられるよう、今議会一般質問初日の公明党代表質問の「急ぐべきもの

については、案が固まり次第早く議会に提案をして、判断を仰ぐべきである。」と

公明党

提言したとおり、速やかに追加議案として提案されたことを大いに評価します。また、地方創生臨時交付金の残り分については、今後原油価格高騰等で経営に窮している中小事業者や農業者に対する支援など、公明党の緊急要望書を今一度ご確認頂き、積極的な交付金の活用を引き続き検討するよう要望し賛成します。

議案第1号令和4年度佐倉市一般会計補正予算について以下の点を申し添え賛成する。今後も『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』を活用して、さらなるトイレの洋式化の推進や現在の社会生活に対応するための公共施設へのWiFiの導入など、必要な施設改修を進めていただきたい。また、『市内消費喚起事業』『高齢者いきいき応援事業』もそれぞれ、飲食店のリピート率向上や、コロナ禍における高齢者の気分転換が図れる等、市内の消費喚起の促進にも繋がることを考える。

議案第7号については、人口減少・少子化の波と共に、児童推計も確かに微減傾向ではあるが、保育園や学童へのニーズが高まっている状況を見据えた対応が必要。引き続き配慮をお願いする。

議案第8号については、昨年度議決された『住民税非課税世帯等に対する臨時給

付金』の給付対象から漏れてしまったものの、生活に困窮する世帯への救済策として高く評価する。また給食用食材費の高騰分支援についても、保護者に負担をかけることなく、食材の安定した質や量を維持することは大変重要と考える。引き続きの支援をお願いする。

自由民主党

反対する主な理由

議案1号①個人番号カード交付事業、マイナポイント申請支援業務委託料は、カード普及を狙ったポイントによる利益誘導や、キャッシュレス決済利用者だけが得をする不公平な仕組みに多額の税金を使うため反対。②子宮頸がんワクチンは、性交渉前の接種に有効性があるとされ、12歳から16歳が対象。しかし積極的勧奨を控えていた間の対象者を公費接種の対象として救済するキャッシュアップ接種で、今年度17歳から25歳に接種させることは、有効性に疑問があり、重篤な副反応被害者を増やすだけと考える。

議案2号コロナ対策の交付金を事務手続きミスにより5億3000万円を国に返還した問題で、市長・副市長の給与減額。市長は、直接市民に再発防止策や責任のあり方等説明や謝罪を一切行っていない。責任ある行動と言えず金額も妥当でないため再考すべき。

議案第23号に賛成

市民ネットワーク

交付金繰越ミス（佐倉市の5.3億円損失）に対し、少なすぎる市長給料削減案（総額94万円）に反対

コロナ臨時交付金の「県への連絡ミス」で、市は5億3千万円を国に返還。監督責任の重大性から市長給料10%（9万4千円）、副市長給料5%（4万円）を10か月減額する。しかし、減額案の合理的理由も示されず、とうてい市民の理解は得られないと判断した。コロナ交付金活用事業、生活者等への直接的支援が追加工程されたため賛成

当初は事業者支援に偏っていた。物価高騰にあえぐ生活者支援が最重要課題だ。物価高騰が学校・保育園等の給食費に影響しないよう対策が講じられた。

議案第1号に反対

世界から核兵器をなくすために、禁止条約が国連で採択されたが、日本政府は署名していない。被爆者の願いにこたえ、唯一の被爆国政府としての役割を果たすべき。平和条約を全会一致で採択した佐倉市議会として、政府に核兵器禁条約への参加、署名を求めるべき。

ひまわりと市民オンブズマン

今議会で審議された二つの問責決議について、怒鳴り声で私の質問が聞き取れなかったという市民の現認者がたほど議場で騒いだ当該議員を不問とし、議場で他議員の質問を聞いたこと

で私ほか1名を問責とする結果を理解できない。

議席11番

議席12番

議案第1号に賛成。本市議会議規則第146条に、何人も会議中のみだりに発言し、騒ぎ、議事の妨害となる言動をしてはならないとある。予てから一部議員の議会軽視の発言があり、品格を疑う。市民の代表である議員個人個人の尊厳を考慮しての行動か人格を疑う。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

会派に属さない議員

議席3番

議席11番

議席12番

議席13番

議席14番

議席15番

議席16番

議席17番

委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

開催日：令和4年6月6日、6月20日／場所：第三委員会室、6月27日／場所：第四委員会室

《審査結果》

議案1	議案2	議案3	議案4
可決	可決	可決	可決
議案5	議案8	請願23	
可決	可決	不採択	

議案6件、請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・度重なる重大事案に鑑み、「内部統制」を踏まえた新たな仕組みを築き、事務処理誤りの再発防止に努めていただきたい。
- ・各コミュニティセンターにおけるコロナ対策施設改修事業については、衛生的な環境を整備するという目的を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を最大限に活用した上、トイレの洋式化を進めていただきたい。

文教福祉常任委員会

開催日：令和4年6月21日、6月27日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案1	議案6	議案7	議案8
可決	可決	可決	可決
請願21	請願22		
採択	採択		

議案4件、請願2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・就学援助費の支給については、保護者と学校との情報交換の重要な機会ともなっていることから、保護者や生徒のプライバシー等に十分に配慮して引き続き進めていただきたい。
- ・学童保育所はもとより保育園についても、長期的な視点も含めた施設整備等の待機児童対策を講じるとともに、新年度のニーズを見据えた全庁的な取組み強化に努めていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、生活者等への支援については、希望する対象者に漏れなく給付できるよう周知徹底に努めていただきたい。



市内学童保育所
第三志津学童保育所の定員を30人増員し70人とする条例改正（議案第7号）

経済環境常任委員会

開催日：令和4年6月22日／場所：第三委員会室、6月27日／場所：第二委員会室

《審査結果》

議案1	議案8
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・中小企業事業再構築支援事業については、関係機関と連携しながら進めるとともに、県が実施している支援制度など既存制度の活用等についても周知するなど、より効果的な支援となるよう努めていただきたい。

建設常任委員会

開催日：令和4年6月23日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案1
可決

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・公園整備事業の実施に当たっては、園内の見通し確保や周辺の交通環境改善等の緊急性を勘案し整備するとの答弁があり、評価できるものと考えている。
- 今後は、街区公園等についても安全面、防犯面の観点から順次整備を進めていただきたい。

公園内外の安全性・防犯性の向上のため、見通しが悪い高木を一部伐採し、低木への植え替えをする大林公園（王子台6丁目）



議会の構成

～各委員会の構成が変わりました～

※佐倉市議会委員会条例に基づき、常任委員の任期は1年です。◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会



稲田敏昭 玉城清剛 敷根文裕
中村孝治 ◎久野妙子 ○徳永由美子 宇田実生子

文教福祉常任委員会



高橋とみお 押木孝和 石井秀明
藤崎良次 ◎平野裕子 ○斎藤明美 川口絵未

経済環境常任委員会



高木大輔 櫻井道明 齋藤寛之
萩原陽子 ◎岡村芳樹 ○岡野敦 松島梢

建設常任委員会



五十嵐智美 木崎俊行 鍋田達子
石渡康郎 ◎為田浩 ○密本成章 山本英司

会派・各常任委員会等

議長 高木大輔 副議長 敷根文裕 議席番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー

会派	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会改革推進委員会	広報委員会	聴取委員会
さくら会	◎敷根文裕 ○中村孝治	○斎藤明美 ◎平野裕子	○岡野敦 高木大輔 櫻井道明	○密本成章 ◎為田浩 石渡康郎	◎密本成章 岡野敦 平野裕子 櫻井道明	○平野裕子 ◎中村孝治 ◇高木大輔	◎密本成章 岡野敦 斎藤明美 ◎為田浩	
公明党	◎久野妙子	押木孝和	◎◎岡村芳樹	◎鍋田達子	○久野妙子	久野妙子 ◎◎岡村芳樹	◎鍋田達子	
自由民主党	○徳永由美子	石井秀明	◎◎斎藤寛之	◎◎山本英司	◎◎山本英司	◎◎斎藤寛之 ◎◎山本英司	○徳永由美子	
市民ネットワーク		◎◎川口絵未	◎◎松島梢	◎◎五十嵐智美	◎◎松島梢	◎◎川口絵未	◎◎五十嵐智美	
ひまわり会と市民オンブスマン	◎◎宇田実生子	◎◎藤崎良次			◎◎宇田実生子	◎◎藤崎良次	◎◎宇田実生子	
日本共産党			◎◎萩原陽子	◎◎木崎俊行	◎◎萩原陽子	◎◎木崎俊行	◎◎萩原陽子	
会派に属さない議員	◎◎稲田敏昭 ◎◎玉城清剛	◎◎高橋とみお					◎◎高橋とみお	

組合議会等

印旛衛生施設管理組合	◎◎木崎俊行 ◎◎徳永由美子
印旛利根川水防事務組合	◎◎為田浩
佐倉市、酒々井町清掃組合	◎◎山本英司 ◎◎平野裕子 ◎◎久野妙子
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	◎◎五十嵐智美 ◎◎萩原陽子 ◎◎藤崎良次
佐倉市八街市酒々井町消防組合	◎◎敷根文裕 ◎◎岡村芳樹 ◎◎櫻井道明
千葉県後期高齢者医療広域連合	◎◎中村孝治
印旛郡市広域市町村圏事務組合	◎◎高木大輔（議長）
佐倉市監査委員	◎◎石渡康郎

スマートフォン用アプリで佐倉市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

議会百景

11年前、初めておあずかりした議場の議席、最前列からの景色と現在の最後列から見えるもの、聞こえること、感じるもの、距離だけではない大きな変化を感じています。佐倉市の今に、未来に議会として何をどのように取り組んでいるか、より多くの皆さまに正しくお伝えできるように様々な方法で情報発信に努めてまいります。

（広報公聴委員長 為田浩）

こうほう佐倉も市のHPもリニューアルしました。広報公聴委員会でも、市民の皆さんにとって見やすく、わかりやすい紙面にするための検討を随時重ねております。議会だよりが若者を含む多くの方の身近な情報ツールになるよう、また議会活動に関心を持っていただけるよう、今後も心掛けていきたいと思っております。

（広報公聴副委員長 徳永由美子）